

新	旧
2-2 戦略的に進める事業 (1)路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ○路線バスにおける観光二次交通としての役割の維持に向けて、主要な観光地である温泉郷へ運行する路線については、施設の送迎サービスとの運行のバランス（時間帯・本数など）を考慮しつつ、路線バスの運行本数等の調整を検討します。 (2)スクールバスの活用 ○スクールバスの通学に対応しない合間時間での一般利用への活用による利便性の向上等を検討します。 (3)車両サイズの適正化の実施 ○運行の効率性の向上に向けて、現在運行するバス車両などに対して、利用状況等を踏まえて車両サイズの適正化を検討します。 (4)AI 活用による各種システムの導入検討 ○デマンド交通に係る省力化や効率性の向上等に向けて、AI システムを活用した新たなシステムの導入を検討します。 (5)地域旅客運送サービス継続事業の活用 ○維持が困難な地域公共交通サービスについて、地域旅客運送サービス継続事業を実施し、維持・効率化を図ります。 ・実施地域：上郷地区（対象路線：山交バス上郷線）	2-2 戦略的に進める事業 (1)路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ○路線バスにおける観光二次交通としての役割の維持に向けて、主要な観光地である温泉郷へ運行する路線については、施設の送迎サービスとの運行のバランス（時間帯・本数など）を考慮しつつ、路線バスの運行本数等の調整を検討します。 (2)スクールバスの活用 ○スクールバスの通学に対応しない合間時間での一般利用への活用による利便性の向上等を検討します。 (3)車両サイズの適正化の実施 ○運行の効率性の向上に向けて、現在運行するバス車両などに対して、利用状況等を踏まえて車両サイズの適正化を検討します。 (4)AI 活用による各種システムの導入検討 ○デマンド交通に係る省力化や効率性の向上等に向けて、AI システムを活用した新たなシステムの導入を検討します。
58	58

6. プロジェクト・事業まとめ

前項までに整理したプロジェクト・事業に係る重点事業の実施スケジュールと、戦略的に進める事業一覧は下表のとおりです。

表 プロジェクト・事業まとめ

区分		重点事業	年度					戦略的に進める事業
			2022	2023	2024	2025	2026	
1	市街地の魅力向上プロジェクト	① 市街地循環路線の再編・見直し	検討	再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・米沢駅の周辺環境の改善 ・主要拠点のバリアフリー化の推進 ・低床車両・UD車両等の導入 ・市民バスの4条路線化への見直し
		② 米沢駅の誘導サイン等の改善	①サイン等の検討	②関係者との調整	③設置	利用状況に応じて適宜見直し		
		③ ナセBAの交通拠点としての機能強化	経路の見直し再編の検討	再編の実施		利用状況に応じて適宜見直し		
2	市街地へのアクセス性確保プロジェクト	① 郊外部の路線バスの再編・見直し	検討	再編の実施		利用状況に応じて適宜見直し		・路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ・スクールバスの活用 ・車両サイズの適正化の実施 ・AI活用による各種システムの導入検討 ・地域旅客運送サービス継続事業の活用
		② 運行方法・交通モード等の見直し	①検討	②再編の実施	③利用状況に応じて適宜見直し			
3	広域連携強化プロジェクト	① 鉄道との接続性向上		再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・バスやタクシー等を活用した観光パックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討 ・MaaSに基づくサービスの展開 ・鉄道の輸送改善及び鉄道駅舎施設のバリアフリー化
		② 維持・管理に要する財源の確保			財源の確保			
		③ 奥羽新幹線の整備と米沢 - 福島間トンネル整備の早期実現		乗客活動・利用促進の取組				
4	利用しやすい・わかりやすい改善プロジェクト	① 運賃制度の見直し	導入に向けた検討	制度の導入		利用状況に応じて適宜見直し		・冬期間の高校生の移動手段の確保 ・パーク＆ライド環境等の整備 ・電動レンタサイクルの活用 ・リアルタイムの運行情報の発信 ・サイネージ等による運行情報の発信
		② バス待ち環境の改善	対象箇所への調査		適宜実施（予算状況により）			
		③ 運行情報の公表（オープンデータ）・更新			データの更新			
		④ 総合的な公共交通マップ・時刻表の作成		内容等の検討	ツールの作成・配布	適宜見直し		
5	公共交通の基盤固めプロジェクト	① ICカードの活用		ICカードデータの活用				・施設と連携した割引サービスの展開 ・利用促進に向けた条例等の検討 ・懇談会・意見交換会の開催 ・事業者の運転手確保支援 ・タクシーを活用した買い物代行等の普及啓発
		② バスの乗り方教室の実施			適宜実施			
		③ 地域主体の交通サービスの導入等の支援（乗用タクシーの活用など）	地域との意見交換	協議・検討	実証実験モデル地域	見直し・本格運行		
		④ 企業や免許返納者に対する利用促進策の展開	検討		適宜実施			

6. プロジェクト・事業まとめ

前項までに整理したプロジェクト・事業に係る重点事業の実施スケジュールと、戦略的に進める事業一覧は下表のとおりです。

表 プロジェクト・事業まとめ

区分		重点事業	年度					戦略的に進める事業
			2022	2023	2024	2025	2026	
1	市街地の魅力向上プロジェクト	① 市街地循環路線の再編・見直し	検討	再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・米沢駅の周辺環境の改善 ・主要拠点のバリアフリー化の推進 ・低床車両・UD車両等の導入 ・市民バスの4条路線化への見直し
		② 米沢駅の誘導サイン等の改善	①サイン等の検討	②関係者との調整	③設置	利用状況に応じて適宜見直し		
		③ ナセBAの交通拠点としての機能強化	経路の見直し再編の検討	再編の実施		利用状況に応じて適宜見直し		
2	市街地へのアクセス性確保プロジェクト	① 郊外部の路線バスの再編・見直し	検討	再編の実施		利用状況に応じて適宜見直し		・路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ・スクールバスの活用 ・車両サイズの適正化の実施 ・AI活用による各種システムの導入検討
		② 運行方法・交通モード等の見直し	①検討	②再編の実施	③利用状況に応じて適宜見直し			
3	広域連携強化プロジェクト	① 鉄道との接続性向上		再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・バスやタクシー等を活用した観光パックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討 ・MaaSに基づくサービスの展開 ・鉄道の輸送改善及び鉄道駅舎施設のバリアフリー化
		② 維持・管理に要する財源の確保			財源の確保			
		③ 奥羽新幹線の整備と米沢 - 福島間トンネル整備の早期実現		乗客活動・利用促進の取組				
4	利用しやすい・わかりやすい改善プロジェクト	① 運賃制度の見直し	導入に向けた検討	制度の導入		利用状況に応じて適宜見直し		・冬期間の高校生の移動手段の確保 ・パーク＆ライド環境等の整備 ・電動レンタサイクルの活用 ・リアルタイムの運行情報の発信 ・サイネージ等による運行情報の発信
		② バス待ち環境の改善	対象箇所への調査		適宜実施（予算状況により）			
		③ 運行情報の公表（オープンデータ）・更新			データの更新			
		④ 総合的な公共交通マップ・時刻表の作成		内容等の検討	ツールの作成・配布	適宜見直し		
5	公共交通の基盤固めプロジェクト	① ICカードの活用		ICカードデータの活用				・施設と連携した割引サービスの展開 ・利用促進に向けた条例等の検討 ・懇談会・意見交換会の開催 ・事業者の運転手確保支援 ・タクシーを活用した買い物代行等の普及啓発
		② バスの乗り方教室の実施			適宜実施			
		③ 地域主体の交通サービスの導入等の支援（乗用タクシーの活用など）	地域との意見交換	協議・検討	実証実験モデル地域	見直し・本格運行		
		④ 企業や免許返納者に対する利用促進策の展開	検討		適宜実施			

新

■プロジェクト・事業の実施スケジュール

区分		重点事業	年度					戦略的に進める事業
			2022	2023	2024	2025	2026	
1	市街地の魅力向上プロジェクト	① 市街地循環路線の再編・見直し	検討	詳細の策定	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・米沢駅の周辺環境の改善 ・主要拠点のバリアフリー化の推進 ・低床車両・UD車両等の導入 ・市民バスの4条路線化への見直し
		② 米沢駅の誘導サイン等の改善	①サイン等の検討	②案内板との調整	③設置	利用状況に応じて適宜見直し		
		③ ナセBAの交通拠点としての機能強化	経路の見直し	利用状況に応じて適宜見直し				
2	市街地へのアクセス性確保プロジェクト	① 郊外部の路線バスの再編・見直し	検討	再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ・スクールバスの活用 ・車両サイズの適正化の実施 ・AI活用による各種システムの導入検討 ・地域旅客運送サービス継続事業の活用
		② 運行方法・交通モード等の見直し	①検討	②再編の実施	③利用状況に応じて適宜見直し			
3	広域連携強化プロジェクト	① 鉄道との接続性向上		再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・バスやタクシー等を活用した観光パックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討 ・MaaSに基づくサービスの展開 ・鉄道の輸送改善及び鉄道駅舎施設のバリアフリー化
		② 維持・管理に要する財源の確保			財源の確保			
		③ 奥羽新幹線の整備と米沢・福島間トンネル整備の早期実現			経路の検討・利用促進の取組			
4	利用しやすい・わかりやすい改善プロジェクト	① 運賃制度の見直し	導入に向けた検討	制度の導入	利用状況に応じて適宜見直し			・冬期間の高校生の移動手段の確保 ・パーク＆ライド環境等の整備 ・電動レンタサイクルの活用 ・リアルタイムの運行情報の発信 ・サイネージ等による運行情報の発信
		② バス待ち環境の改善	対象箇所等の選定		適宜実施（予算状況により）			
		③ 運行情報の公表（オープンデータ）・更新			データの更新			
		④ 総合的な公共交通マップ・時刻表の作成		内容等の検討	ツールの作成・配付		適宜見直し	
5	公共交通の基盤固めプロジェクト	① ICカードの活用			ICカードデータの活用			・施設と連携した割引サービスの展開 ・利用促進に向けた条例等の検討 ・懇談会・意見交換会の開催 ・事業者の運転手確保支援 ・タクシーを活用した買い物代行等の普及啓発
		② バスの乗り方教室の実施			適宜実施			
		③ 地域主体の交通サービスの導入等の支援（乗用タクシーの活用など）	地域との意見交換	協議・検討	実証実験モデル地域	見直し・本格運行		
		④ 企業や免許返納者に対する利用促進策の展開	検討		適宜実施			

●計画を評価する指標と推進方法

計画の進捗状況や基本目標の達成状況等を確認するために指標及び数値目標を設定し、毎年度モニタリング等を行います。計画期間の4年目に3年間の実績を振り返り、計画全体の評価を行うとともに、5年目（2026年度）に計画を見直して、次期計画に改定します。

また、計画のモニタリング・評価の結果については、米沢市地域公共交通活性化協議会に示すこととし、事業の実施状況等と合わせて達成状況等に関する検証を行います。

表 計画の推進方法

項目		本計画の計画期間					次期計画
		2022	2023	2024	2025	2026	2027
事業実施(D)							
モニタリング・評価(C)							
	指標						
個別事業の検討・見直し(A・P)							
計画全体の見直し(P)					評価		改定

旧

■プロジェクト・事業の実施スケジュール

区分		重点事業	年度					戦略的に進める事業
			2022	2023	2024	2025	2026	
1	市街地の魅力向上プロジェクト	① 市街地循環路線の再編・見直し	検討	再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・米沢駅の周辺環境の改善 ・主要拠点のバリアフリー化の推進 ・低床車両・UD車両等の導入 ・市民バスの4条路線化への見直し
		② 米沢駅の誘導サイン等の改善	①サイン等の検討	②案内板との調整	③設置	利用状況に応じて適宜見直し		
		③ ナセBAの交通拠点としての機能強化	経路の見直し再編の実施			利用状況に応じて適宜見直し		
2	市街地へのアクセス性確保プロジェクト	① 郊外部の路線バスの再編・見直し	検討	再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・路線バスと施設の送迎サービス間の運行本数等の調整 ・スクールバスの活用 ・車両サイズの適正化の実施 ・AI活用による各種システムの導入検討
		② 運行方法・交通モード等の見直し	①検討	②再編の実施	③利用状況に応じて適宜見直し			
3	広域連携強化プロジェクト	① 鉄道との接続性向上		再編の実施	効果検証	利用状況に応じて適宜見直し		・バスやタクシー等を活用した観光パックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討 ・MaaSに基づくサービスの展開 ・鉄道の輸送改善及び鉄道駅舎施設のバリアフリー化
		② 維持・管理に要する財源の確保			財源の確保			
		③ 奥羽新幹線の整備と米沢・福島間トンネル整備の早期実現			経路の検討・利用促進の取組			
4	利用しやすい・わかりやすい改善プロジェクト	① 運賃制度の見直し	導入に向けた検討	制度の導入	利用状況に応じて適宜見直し			・冬期間の高校生の移動手段の確保 ・パーク＆ライド環境等の整備 ・電動レンタサイクルの活用 ・リアルタイムの運行情報の発信 ・サイネージ等による運行情報の発信
		② バス待ち環境の改善	対象箇所等の選定		適宜実施（予算状況により）			
		③ 運行情報の公表（オープンデータ）・更新			データの更新			
		④ 総合的な公共交通マップ・時刻表の作成		内容等の検討	ツールの作成・配付		適宜見直し	
5	公共交通の基盤固めプロジェクト	① ICカードの活用			ICカードデータの活用			・施設と連携した割引サービスの展開 ・利用促進に向けた条例等の検討 ・懇談会・意見交換会の開催 ・事業者の運転手確保支援 ・タクシーを活用した買い物代行等の普及啓発
		② バスの乗り方教室の実施			適宜実施			
		③ 地域主体の交通サービスの導入等の支援（乗用タクシーの活用など）	地域との意見交換	協議・検討	実証実験モデル地域	見直し・本格運行		
		④ 企業や免許返納者に対する利用促進策の展開	検討		適宜実施			

●計画を評価する指標と推進方法

計画の進捗状況や基本目標の達成状況等を確認するために指標及び数値目標を設定し、毎年度モニタリング等を行います。計画期間の4年目に3年間の実績を振り返り、計画全体の評価を行うとともに、5年目（2026年度）に計画を見直して、次期計画に改定します。

また、計画のモニタリング・評価の結果については、米沢市地域公共交通活性化協議会に示すこととし、事業の実施状況等と合わせて達成状況等に関する検証を行います。

表 計画の推進方法

項目		本計画の計画期間					次期計画
		2022	2023	2024	2025	2026	2027
事業実施(D)							
モニタリング・評価(C)							
	指標						
個別事業の検討・見直し(A・P)							
計画全体の見直し(P)					評価		改定